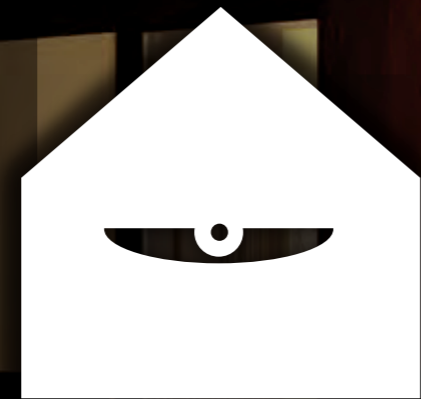


国内外の宿泊者受け入れ促進

伊賀流忍者博物館の所蔵物をあなたの施設に再現！

本物の忍者を感じる
大人のかくれ空間



NINPAK

忍泊

伊賀流忍者博物館監修

伊賀上野観光協会
伊賀流忍者博物館



up to date designing
FUJIYA

コンセプト

伊賀流忍者博物館の再現

(見込み顧客に近づく)

Reproduction Museum

リプロダクション・ミュージアム・ニンジャ・イガ

Ninja IGA

インバウンドにも大人気の伊賀流忍者博物館ですが、コロナ禍来襲で、その導線は止まったままです。この状況も、いずれは改善され、また、世界からの来訪を迎え、博物館も賑やかになることは理解しています。

しかし、今回の経験を今後に生かすためには、じっとコロナ明けを待つのではなく、積極的な攻めの経営・プロモーションを行うことが今後の災害の回避と突破口につながると思い、ニーズを感じるところへ、忍者博物館を再現(Reproduction)する取り組みを考えました。

それは、インバンドが大好きな「忍者・NINJA」を、その来訪接点に再現することです。

忍者屋敷の「からくり」を宿泊ルームに再現、博物館の展示品(忍者道具)を再現し、手にとり実感する体験型の展示や、秘蔵の忍術書を公開するなど、そこに忍者を感じる Reproduction Museum をコラボレーション企業と共に展開いたします。



伊賀流忍者博物館とは

昭和 39 年 (1964) に開館した伊賀流忍者屋敷を前身とし、平成 10 年 (1998)、伊賀流忍者博物館としてリニューアルし平成 20 年 (2008) には忍者 (忍術) をテーマにした博物館としては唯一、博物館法に基づいた登録博物館の指定を受けています。伊賀流・甲賀流だけではなく全国の忍者・忍術関連の古文書約 1000 点を収蔵し、日本遺産 忍びの里 伊賀の博物館としてお客様に忍者・忍術への理解を深めていただくための活動を行っています。

忍者の聖地・伊賀

伊賀流忍者博物館

伊賀流忍者博物館沿革

- 1964 年 - 上野市 (現伊賀市) 高山にあった民家を移築し、忍術研究者である奥瀬平七郎氏監修により上野市観光協会 (現伊賀上野観光協会) が開設。
- 1998 年 - 忍術継承者 川上仁一氏監修により施設をリニューアルし、現在の名称である伊賀流忍者博物館に名称を変更。
- 2008 年 - 博物館法に基づく登録博物館として、三重県が認定。

からくり忍者屋敷

一見、ごく普通の農家ですが、忍者屋敷では、それぞれの忍びの家に伝わる、当時としては最先端技術である火薬の調合方法や忍術を守るため、どんでん返しや隠し階段、仕掛け戸などの仕掛けからくりを備えていました。忍者屋敷の中を平日は忍者が実演案内、休日はからくり体験をしています。



忍者資料館

忍者の歴史や生活を紹介した施設と、忍術書に基づいて製作されたレプリカの忍具やおなじみの手裏剣や水蜘蛛などの忍具を見ることができる施設があります。彼らの暮らしぶりは、昔の人々の知恵の結晶であり、現代に生きる私たちに通じるものがあります。

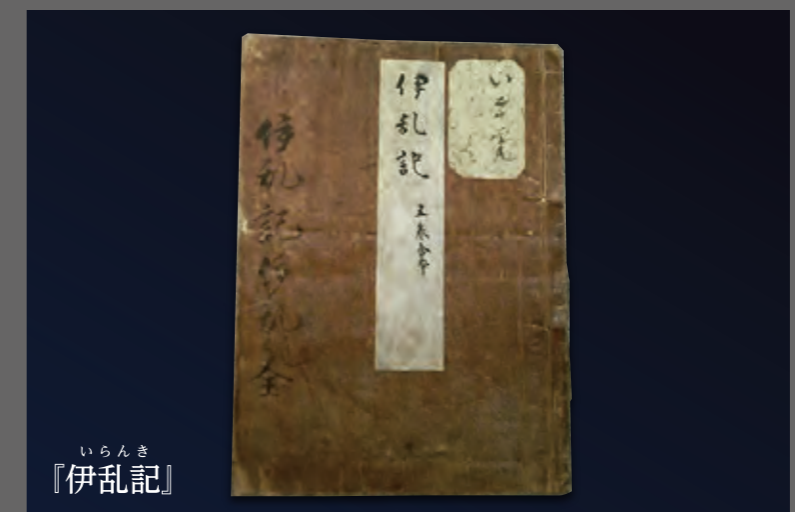


收藏品

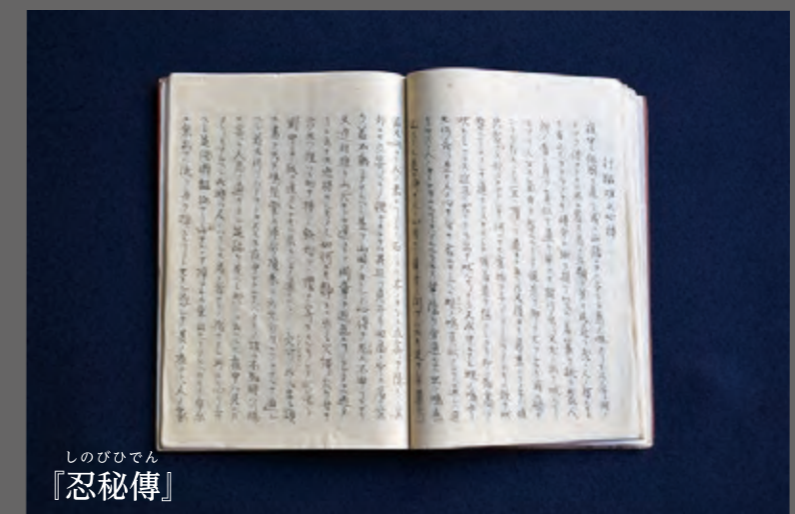
不定期で展示しています。忍者・忍術に関する文献の収蔵点数は、日本トップクラスです。



ばんせんしゅうかい
『萬川集海』



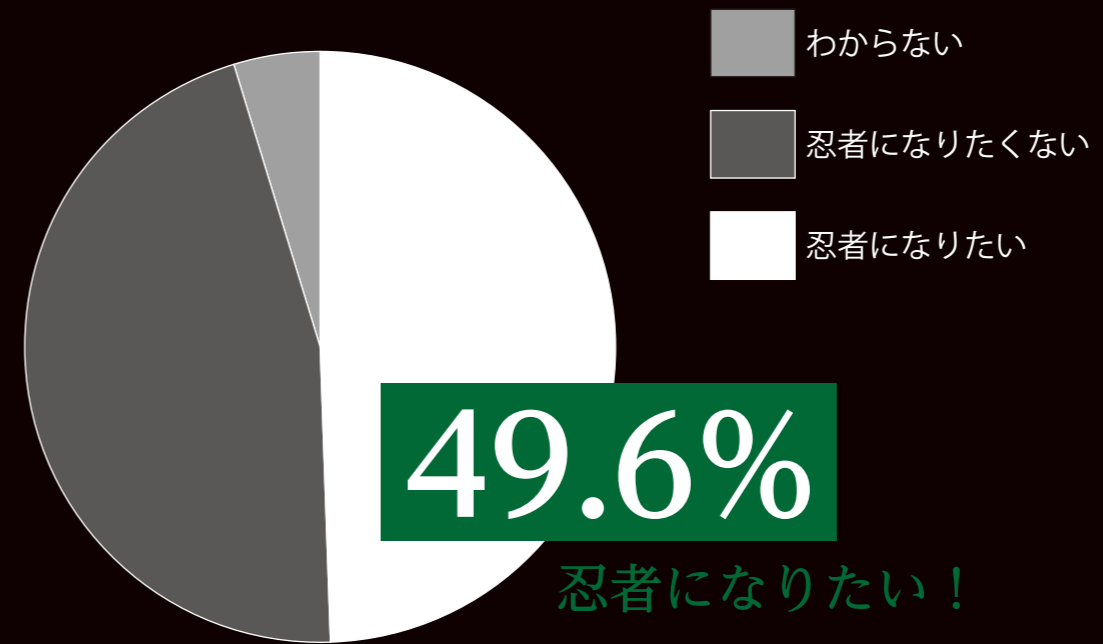
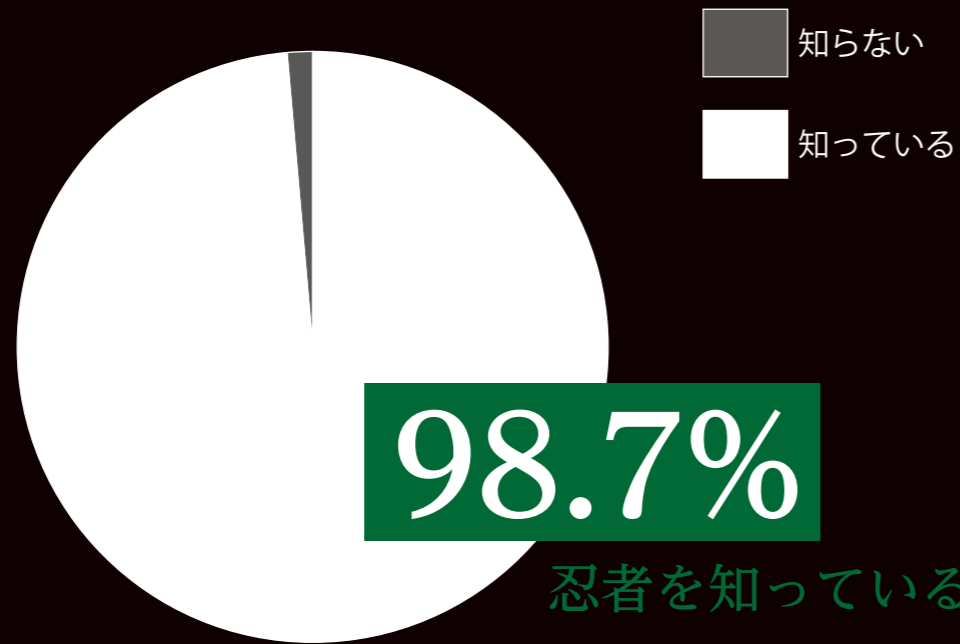
いらんき
『伊乱記』



しのびでん
『忍秘傳』

海外 10 か国で約 50% の人が「忍者になりたい」

日本忍者協議会(英語名:Japan Ninja Council)では、忍者コンテンツに関する世界規模の調査『忍者グローバル調査』を実施。日本への関心が高いと思われる海外 10 か国(中国、台湾、香港、タイ、マレーシア、インドネシア、米国、オーストラリア、フランス、ドイツ)計 2,000 名を対象に、調査を行いました。



海外 10 か国全体で、忍者の認知度は 98.7%

海外での忍者の認知度は驚くほど高く、「知っている計」(「よく知っている」+「少し知っている」+「名前を聞いたことがある程度」)は全体で 98.7%。調査したすべての国で 97%以上という高い結果になりました。

【グラフ1】あなたは「忍者」をご存知ですか

国別	サンプル数	よく知っている	少し知っている	名前を聞いたことがある程度	全く知らない	【知っている計】
全体(10か国計)	2000	27.0	66.4	15.4	1.3	98.7
アジア計	1100	35.4	69.3	13.3	1.2	98.8
欧米計	900	13.9	81.9	14.8	1.5	98.5
中国	200	38.5	59.0	21.5	1.0	99.0
台湾	200	34.5	66.5	14.5	2.5	99.5
香港	200	33.0	64.5	20.5	2.0	98.0
タイ	200	27.5	59.5	6.0	1.0	99.0
マレーシア	200	33.0	59.0	3.0	1.0	99.0
インドネシア	200	39.0	74.5	3.0	2.5	99.5
米国	200	12.5	52.5	14.0	1.0	97.0
オーストラリア	200	22.5	69.0	21.5	1.0	98.0
フランス	200	6.5	75.0	28.0	0.5	99.5
ドイツ	200	14.0	64.0	19.5	2.5	97.5
日本	200	9.8	79.7	14.7	3.0	100.1

※調査単位(%)は、サンプル数下限と回答率を調整しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。

忍者を認知している人の中で、約 50% の人が「忍者になりたい」と回答

10 か国で忍者を認知している人に「忍者になりたいか」を聞いたところ、49.6%(100% から「忍者になりたくない」と「わからない」を引いた値)と、約半数の人が「忍者になりたい」と回答しました。特にタイでは、80.8%の人が「忍者になりたい」と回答する驚くべき結果が明らかになりました。

【グラフ2】あなたは忍者になりたいですか

国別	サンプル数	わからない	忍者になりたくない	忍者になりたい
全体(10か国計)	2000	48.7	37.9	49.7
アジア計	1100	46.5	37.9	42.2
欧米計	900	50.8	38.1	35.8
中国	200	38.0	28.4	49.5
台湾	200	39.7	34.0	48.0
香港	200	33.1	38.3	48.5
タイ	200	19.2	19.1	61.7
マレーシア	200	48.0	34.0	31.0
インドネシア	200	33.1	36.3	30.2
米国	200	45.5	28.4	39.9
オーストラリア	200	39.1	38.1	31.0
フランス	200	43.1	29.0	40.1
ドイツ	200	32.5	38.9	40.1
日本	200	42.0	28.7	33.0

※調査単位(%)は、サンプル数下限と回答率を調整しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。

【調査概要】

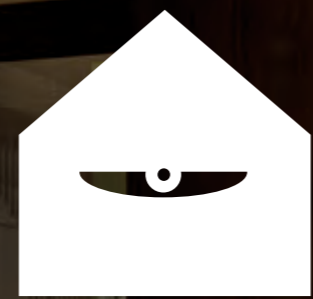
目的: 世界各国の人々の「忍者」に関する認知、内容理解等の基礎指標を確認するとともに、インバウンド促進や地域観光誘致に役立つデータを取得する。

対象国: 海外: 10か国(中国、台湾、香港、タイ、マレーシア、インドネシア、米国、オーストラリア、フランス、ドイツ)各200人 計2000人
国内: 300人

対象者: 海外: 一般生活者 男女20~59歳(男女半々、20~39才/40~59才割合)、中間所得者層以上
国内: 一般生活者 男女20~69歳(男女半々、10代割み、各セル30ss)

調査手法: インターネット調査(各国現地言語による)

調査期間: 海外: 2016年12月26日(月)~2017年1月17日(火)
国内: 2017年2月3日(金)~2017年2月8日(水)



NINPAK

忍泊

伊賀流博物館の監修の下、
所蔵している資料に基づいた”ホンモノ”の
忍者体験が出来る宿泊施設を創出することで
海外の方に向けた日本への誘致を促進します。

下記の5つの要素をポイントに Reproduction Museum を展開します

一

からくり体験

二

本物に
ふれる

三

くらしを知る
(展示)

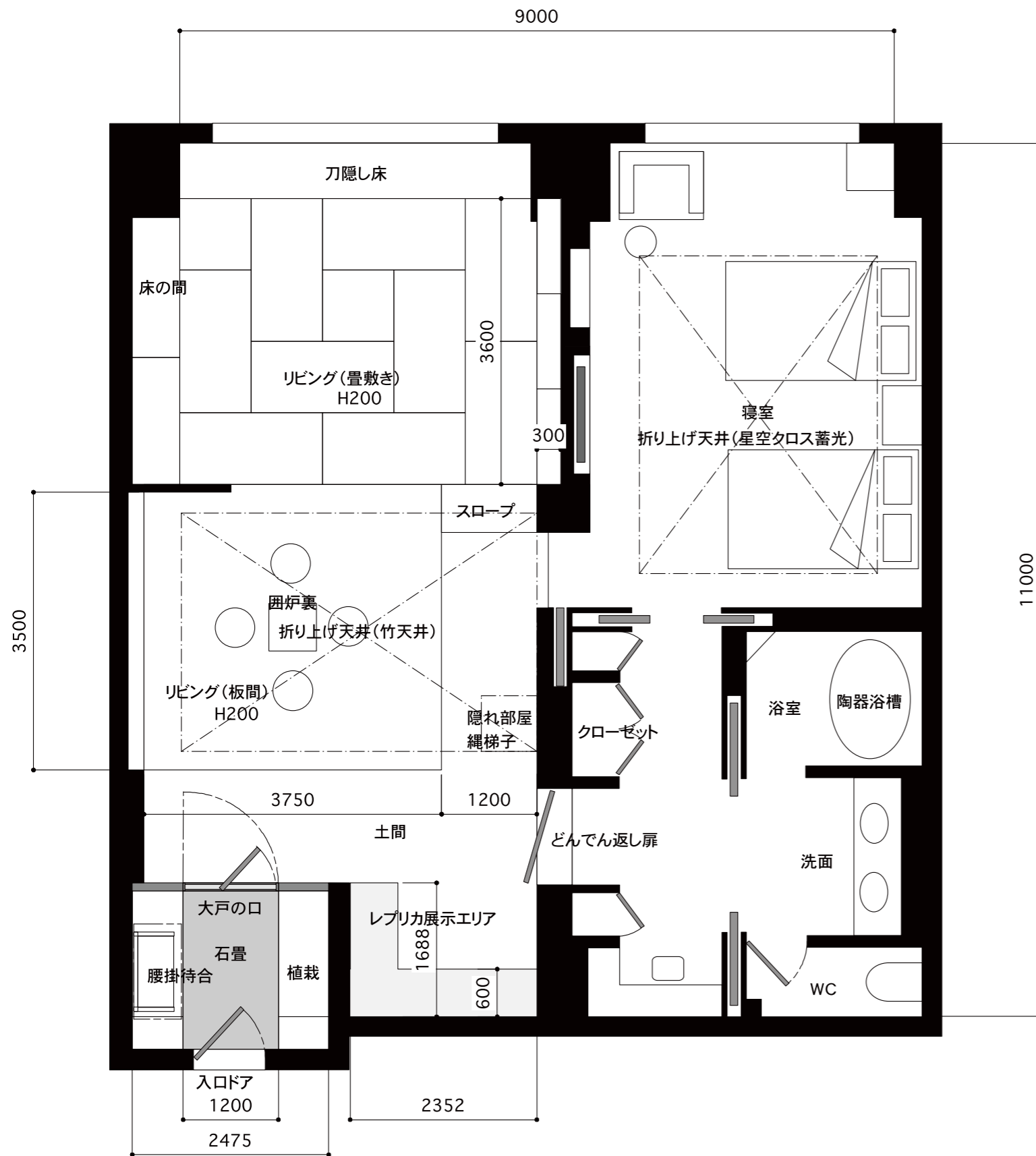
四

サプライズ

五

内装

“忍泊”で想定している空間ストーリー



エントランス



大戸の口を再現(木扉 × 大小)

おもてなしの玄関には忍者屋敷の庭をイメージしたフェイクグリーンにて再現。「忍者の掟」を学びながら忍者屋敷への期待感を促進。

リビング / 板間と和室

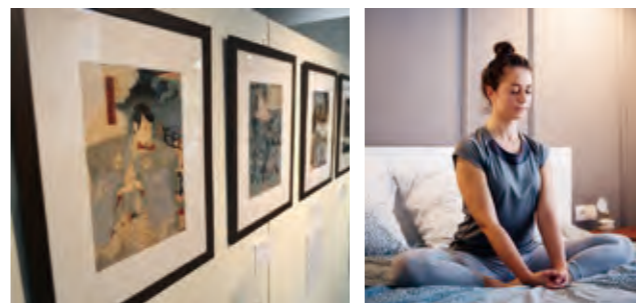


板間と和室の落ち着いた空間で、展示品や忍者屋敷の仕掛けを通してタイムスリップしたような非日常感を演出。

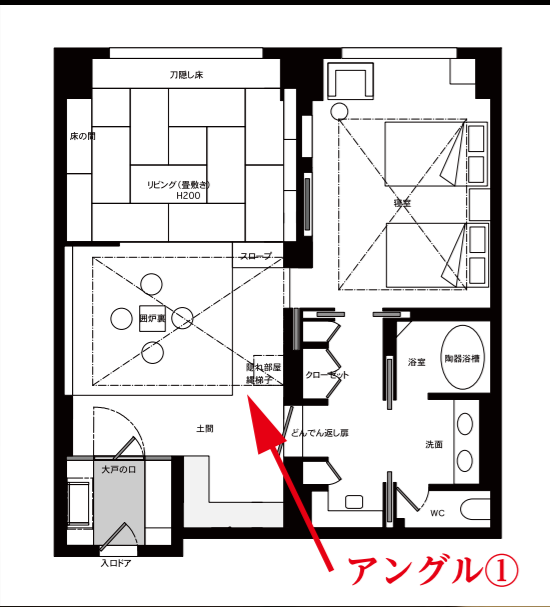
水回り・寝室

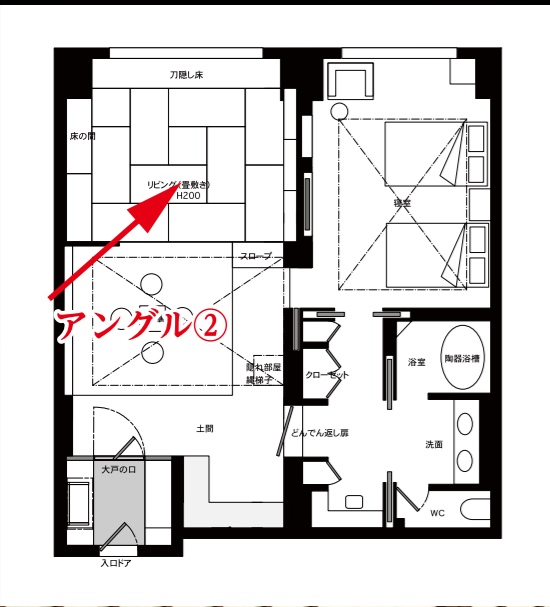


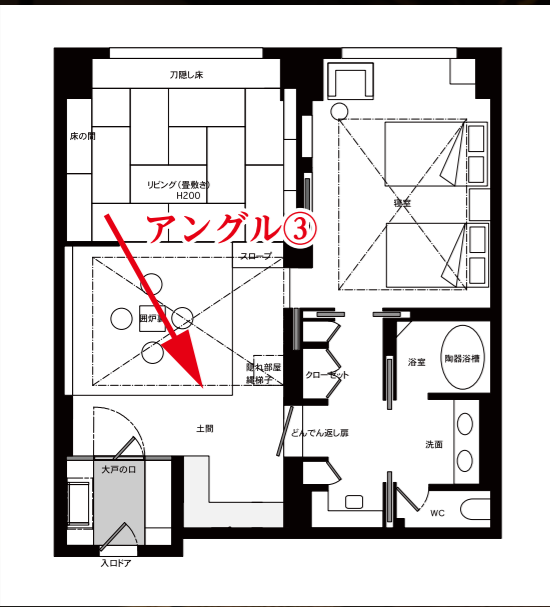
浴室では五感を刺激し、心と体に深い癒しを感じていただくヒーリング効果の高い、匂いや音の演出。



寝室は日本の「和」と、インターナショナルの「洋」がバランスよく共存する世界を表現。







伊賀流忍者博物館



Informational panel featuring a photograph of a traditional building, a map of Japan with a red dot indicating the location, and text in Japanese. The text includes:

- 伊賀流忍者博物館
- 三重県伊賀市上野犬之内117
- TEL: 0932-21-0111
- HP: www.i-gotoku.jp
- 開館時間: 9:00~17:00(入館受付は 16:30まで)
- 休館日: 大人休日(12月、1月、2月、3月、4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月)
- 観覧料: 大人 600円、小人 300円(小学生以下は無料)
- ※観覧料は別途お支払いください
- ※休館日の場合は休館となります



からくり体験

忍者屋敷に隠されたからくりを解明しながら
忍者を**体感**する

どんでん返し



少ない建て込みで忍者屋敷のからくりを表現。

伊賀流忍者博物館に併設されている忍者屋敷をモチーフにバリエーション豊かに再現していきます。

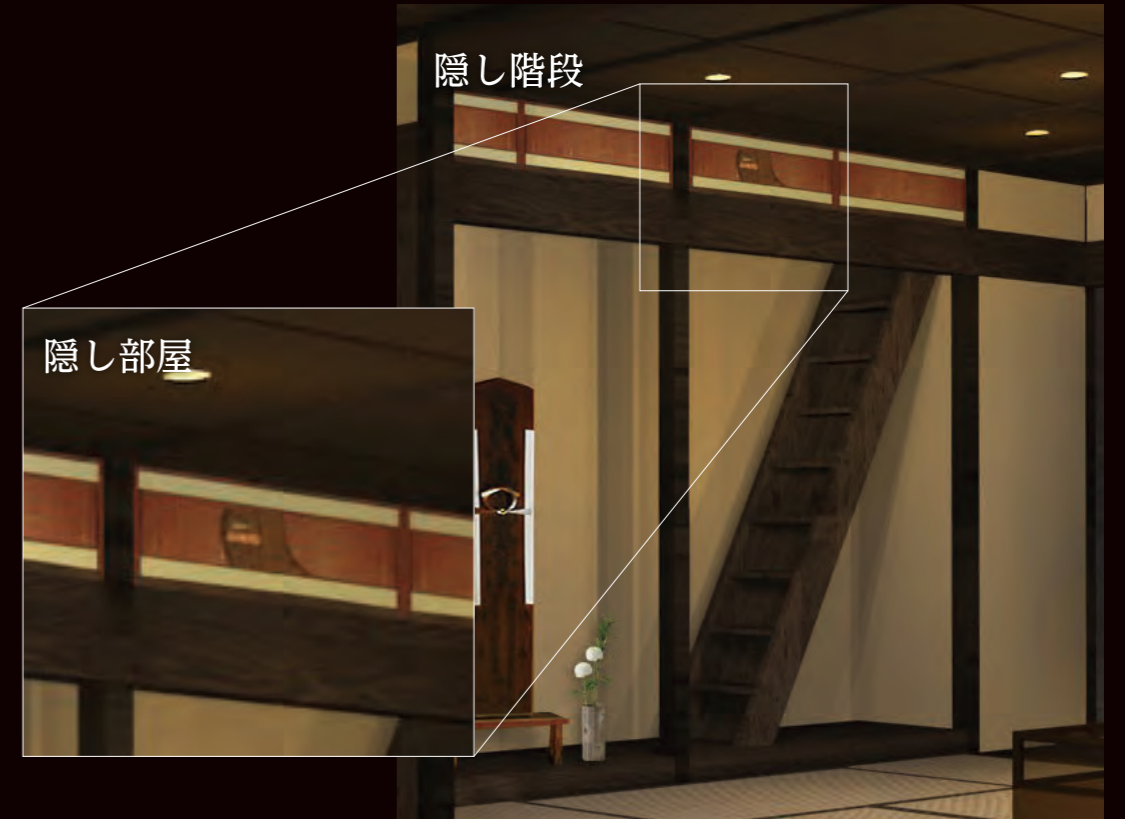
刀隠し



忍者屋敷の実際の刀隠し
/ 伊賀流忍者博物館より



隠し階段



隠し部屋



仕掛け戸



忍者屋敷の実際の仕掛け戸
/ 伊賀流忍者博物館より





本物に触れる

歴史的に確かなレプリカ展示を**発見**。

展示品に触れることで忍者の世界観を感じる

忍具のレプリカ展示

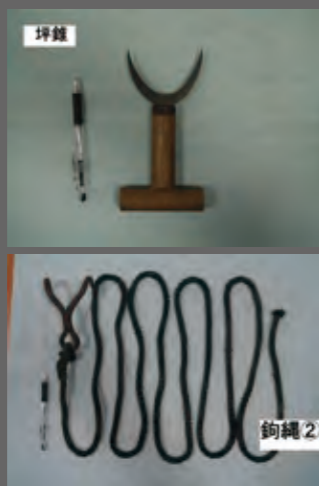


伊賀流忍者博物館に展示されている歴史的に貴重な資料や忍者の道具などのレプリカを部屋の壁面を使って展示。忍者のいた時代に思いを馳せながら、正しい忍者の知識を学んでもらえる空間を提供します。

手裏剣のレプリカ展示



忍具 / 伊賀流忍者博物館より



坪鍔

鉤縄2



車手裏剣

鉄びし



苦無(くない)

忍者の生活用品の展示



三

くらしを知る (展示)

伊賀流忍者博物館所蔵の貴重な資料で**学ぶ**。
部屋で過ごししながら忍者の生活を知ることができる

古文献のレプリカ展示



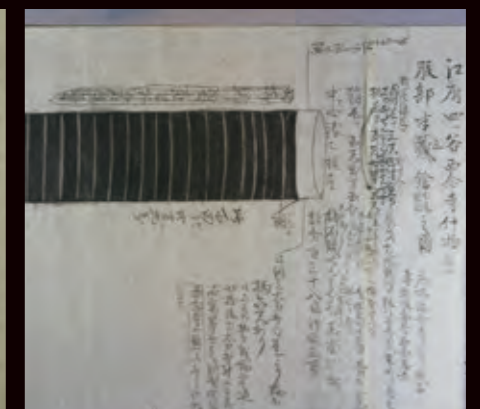
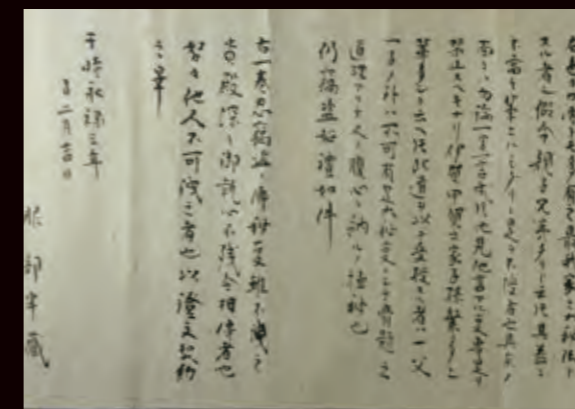
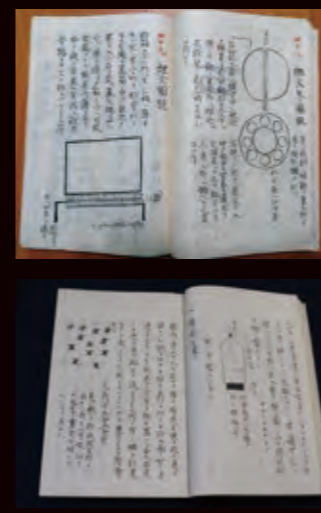
伊賀流忍者博物館に所蔵されている古文献（複製）を展示。
九字法と呼ばれる精神統一法や、効率良く栄養が摂れる忍者食をまとめた「忍者五道」で忍者発祥の地である伊賀での忍者の生活を学び、擬似体験を行う



古文献の中には海外の方の認知度が高い、服部半蔵に関する文献もある



古文献 / 伊賀流忍者博物館より



四

サプライズ

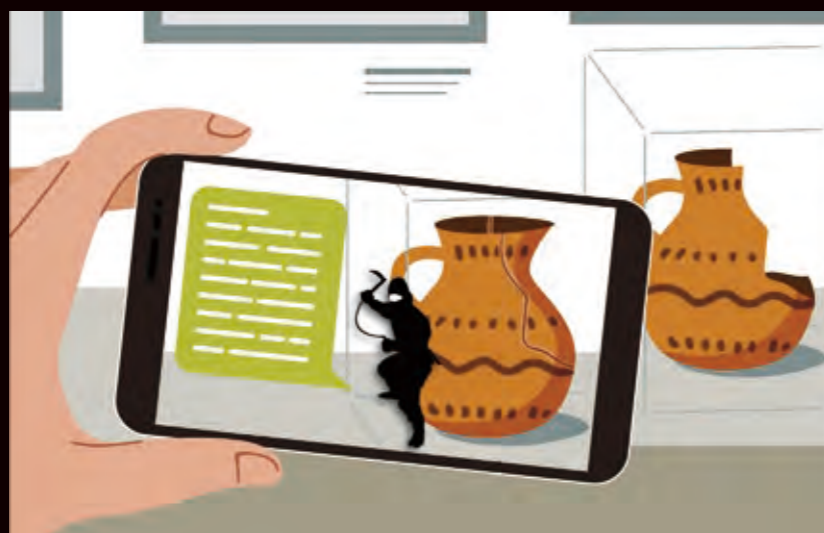
動きのある空間演出をデジタルで表現。

子どもも大人も楽しめるコンテンツで**驚き**を提供



展示品の横には QR コードを配置。

スマホやタブレットで読み取ることで説明文を表示することができます。ブラウザ上で説明することで、多言語対応ができ、より多くの海外の方にも理解してもらいやすい工夫です。



また、AR 技術を取り入れることで、空間の中でアプリを起動させるだけで、忍者が登場したり、情報が展示に合わせて出てくる仕掛けが可能です。より楽しみながら忍者の知識を知ってもらい、また訪れたいと思えるリピーターを増やす狙いです。

五

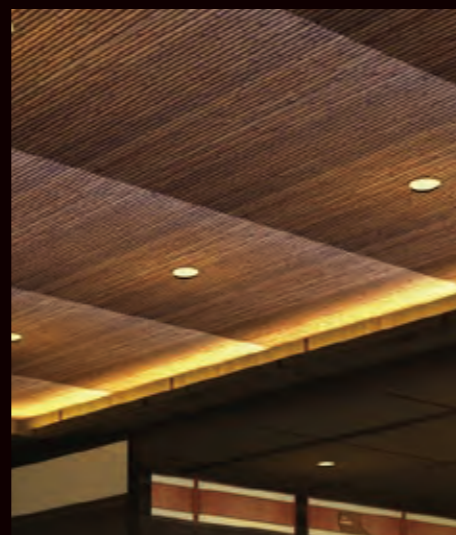
内装

忍者屋敷を参考に忍者の発祥の地、伊賀上野の昔ながらの日本家屋を想像させる空間をトータルで**演出**

古民家をイメージさせるリビング



一室丸ごと忍者ルームとして表現することで、忍者屋敷をそのまま再現したような印象を与え、より忍者を感じる世界観を部屋の中に再現します。



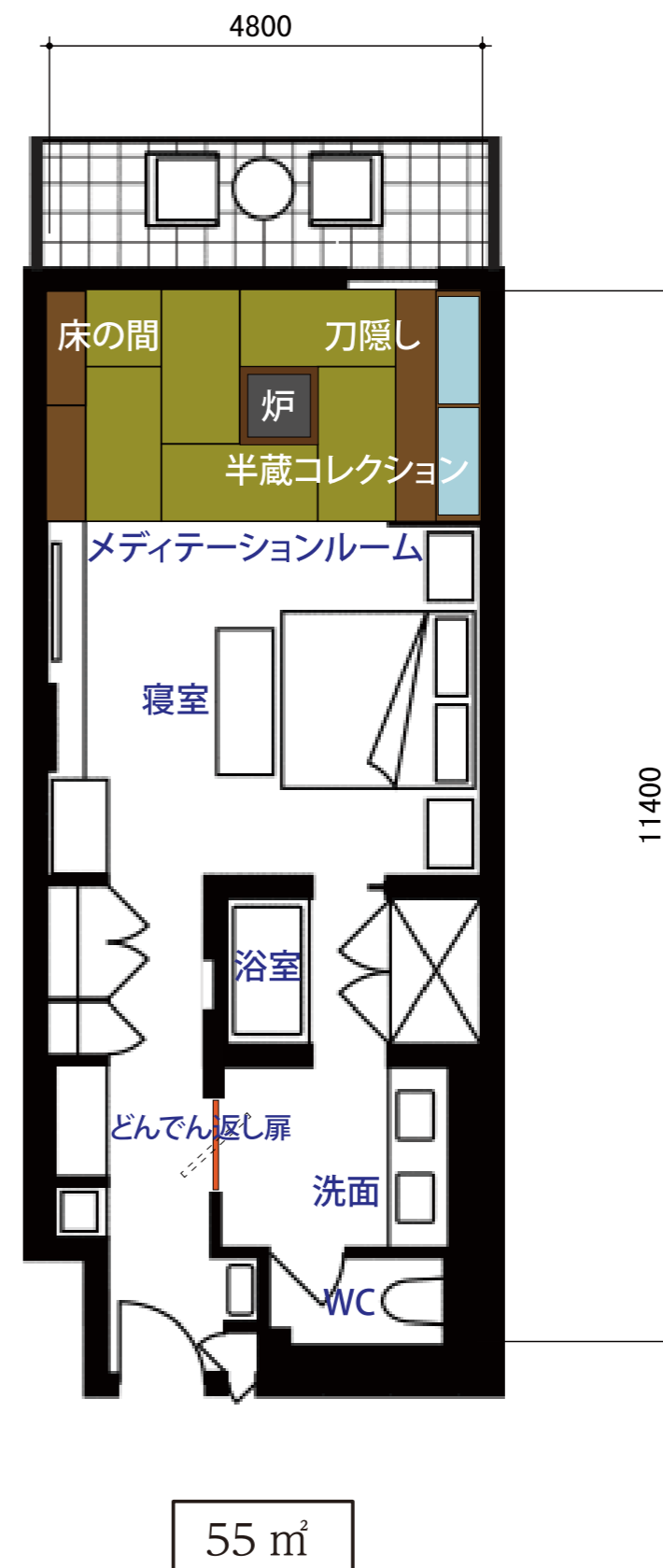
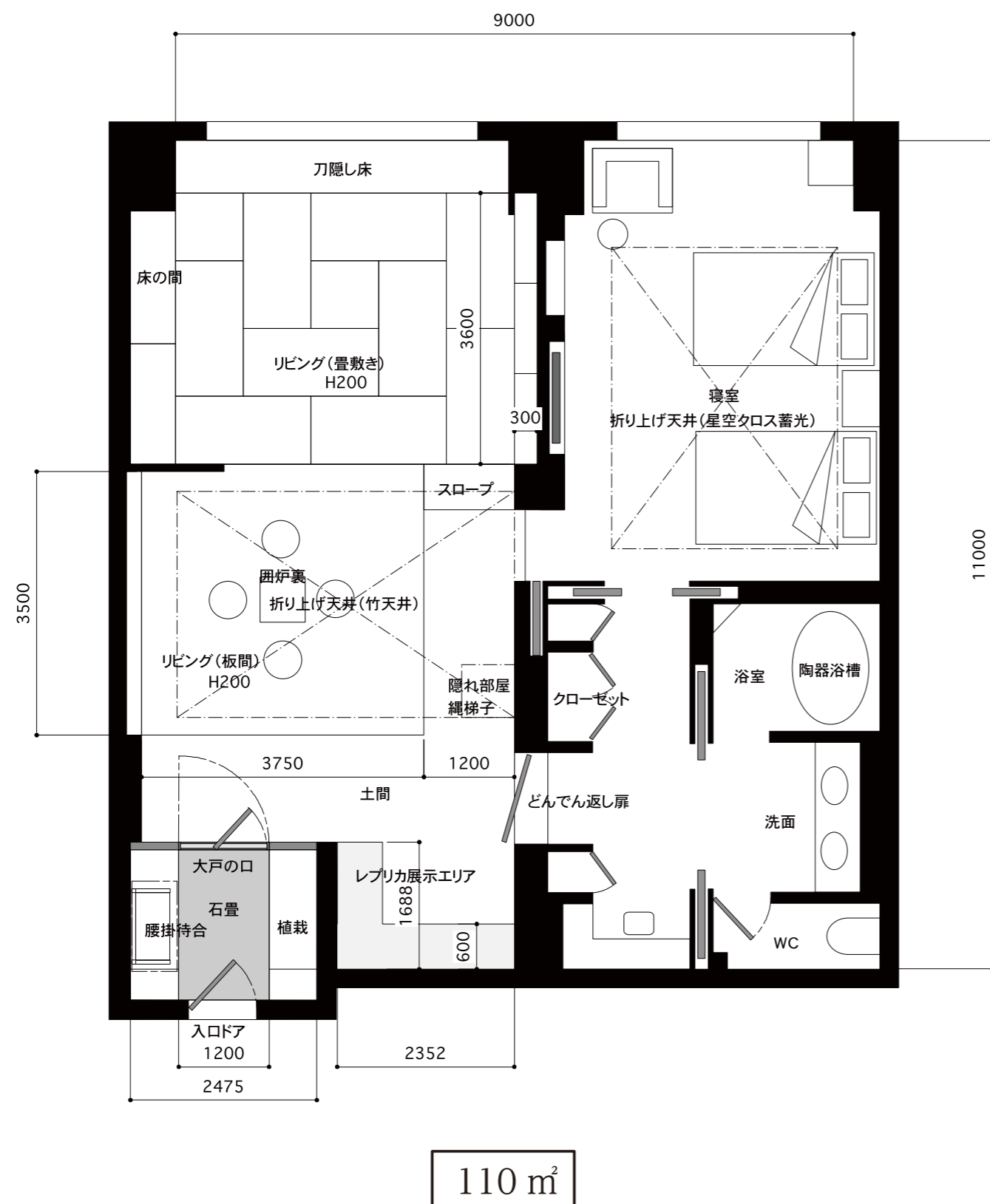
ホテルの一室を改造しやすい壁紙や床面のツール作りを行い、期間限定での宣伝効果を狙った誘致や海外の方向けの事業展開にも活用できるコンテンツを開発いたします。



“ホンモノ”の証として伊賀流忍者博物館の認定証を発行します。

平米違いレイアウト

平米数に合わせてレイアウトは構成可能です。



その他、博物館の企画や活動について

実施、人気企画展「忍秘展」



伊賀の忍者博物館でNINJA展 巻物など初公開

平成 19 年 (2007) 4 月 19 日新聞掲載

「伊賀流忍法極秘巻」「隠密秘事忍大意」。忍者にロマンを感じる人なら、間違いなく心躍るような巻物や伝書などが並ぶ「忍秘 (しのびひ) 展」が、忍者の里・三重県伊賀市上野丸之内の伊賀流忍者博物館で 5 月 8 日まで開かれている。ほとんどが初公開の資料。

写真忍者好きにはたまらない資料が並ぶ「忍秘展」= 伊賀市上野丸之内で
忍秘展は、忍者研究で知られる地元出身の沖森直三郎氏 (1898～1990) のコレクション沖森文庫の所蔵品から、17 点を展示している。

伊賀忍者の代表格、服部半蔵は実在したのか、しないのか。伊賀、甲賀の忍者同士は仲が良かったのかどうか——。謎に包まれた忍者については、ファンの論争に事欠かない。

忍秘展の資料は、そんな議論を戦わせるマニアにはたまらないものに違いない。展示されているのは、忍者の真の姿をあれこれ想像する材料になるものばかりだからだ。

「伊賀付差出帳」は 1636 年ごろの書物で、伊賀忍者ではないかとされる歴史上の人物の名が列記され、それぞれの働きと石高が書かれていて、いわば「忍者の給与明細」で、雇われ者だった立場を推測する資料ともいえる。

「萬川集海 (ばんせんしゅうかい)」は 1676 年に成立したとされる書物で、「目録」など付録を含めると 26 巻になる伊賀甲賀の忍術の集大成ともいえる資料だ。

同博物館の松田知春学芸員 (25) は「映画やマンガに登場する脚色された忍者のイメージも大切。でも、ふだんは農業に汗を流しながら、戦いの時だけ駆り出されたというような素朴な生活を送っていた忍者の実像にも触れてほしい」と話している。

忍秘展(しのびひてん)

～ 沖森文庫所蔵忍術秘伝書のすべて ～

〔(社)伊賀上野観光協会設立5周年記念事業〕の企画として開催しました。旧上野市で古書・古文献の売買をしていた故沖森直三郎氏が収集されていた”沖森文庫(現伊賀上野観光協会が所有)”の中の『伊賀忍者に関する貴重な文献等』の展示でした。

ばんせんしゅうかい

『萬川集海』

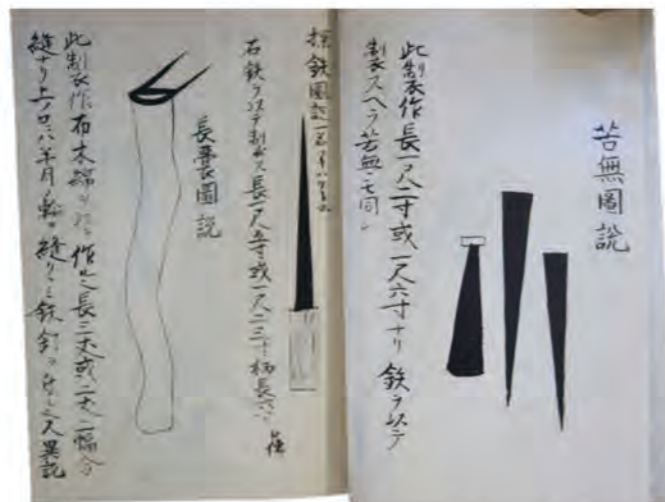


縦 26.0× 横 18.5 12冊 延宝4年(1676)年成立

現存する忍術秘伝書の中で最も大部であり、文字通り伊賀甲賀の忍術を集大成した書で、いわば忍者の百科事典とも称される。編著者は、伊賀国湯舟の地侍であった藤林長門守の末裔が記したと伝わる。

この書は、忍者にとって最も大切な「正心」をはじめ、味方を敵から防御する軍法、敵の様子を見聞きする方法や、情報収集について、また、忍器と呼ばれる道具の製作方法や火薬の製法が記されており、実戦的な内容となっている。

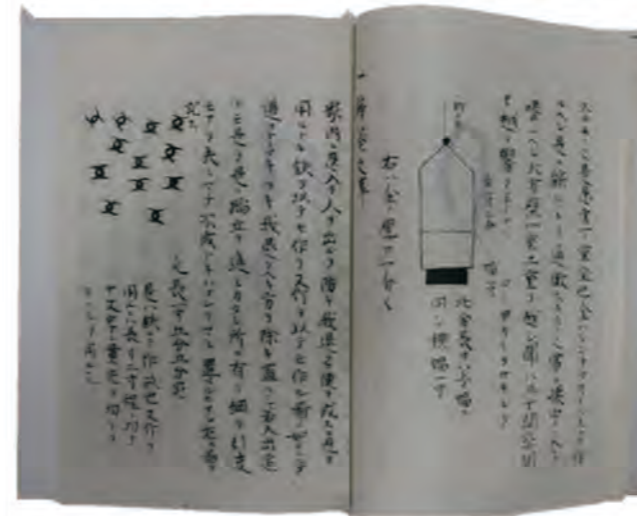
一般的に、伊賀の忍者と甲賀の忍者は不仲であると考えられているが、それは小説やマンガの世界の話。この『萬川集海』は、伊賀・甲賀共通の忍術書であり、ここから伊賀と甲賀の繋がりの深さが良くわかる。実際、地形的に見ても、伊賀と甲賀の境目は不明瞭で、なおかつ古くから縁戚関係が多かった。記録を見ても、織田信長が伊賀を攻めた天正伊賀の乱の時に、甲賀の一部が伊賀を攻めた記録がある程度で、全体的に見ると良好な関係を保っていたと言われている。



しのびひてん

『忍秘傳』

平成19年(2007)3月16日～5月8日の54日間



江戸時代 縦 23.3 横 16.0 1冊 著者 永禄3年(1560)服部半蔵保長より正成に伝授書の写本

伊賀出身で、初め將軍足利義晴に仕えた後、三河(静岡県)にて徳川家に仕えた、服部半蔵保長家の所伝とされる伝書である。巻一卷に、承応二年(1653)元記ともあり、この時代に服部半蔵に仮託されて著された書と伝わる。

四巻で構成され、「伊賀甲賀伝記」「忍道具秘法」「忍秘伝之道具」「忍出立秘伝之事」等々の項をあげ、伊賀・甲賀忍びの起源や、各種道具の図入りでの製作と使用方法、忍び入りの心得等を解説している。

「伊賀甲賀伝記」において、忍術は中国の漢の時代に始まり、我が国では天武天皇の時代に「多子弥」という者が、忍びの働きで功績があったとしている。また、足利將軍義輝の時代に伊賀の忍術を編み出した者十一人ありとし、その一人の楯岡の弥太兵衛道順の活動を記している。「忍道具秘法」については漫画等にも取り上げられている宮内(くない)や撒菱も図示されている。浮踏という動物の皮に空気を入れたものは水中で使うとあり、現代の浮き輪のようで面白い。鎌や大鋸等の生活用品も記されているが、いずれも使いやすいように、忍び用に作り替えられたことが分かる。

展示内容 文献名

- *『忍秘傳』
 - *『萬川集海』
 - *『伊賀附差出帳』
 - *『服部半蔵忍法免許』
 - *『服部半蔵所用槍「鬼切丸」図』
 - *『忍者関所通行証受領文書』
 - *『伊賀流忍術極秘巻』
 - *『伊賀問答忍術賀士誠』
 - *『伊賀国忍術秘法』
 - *『伊賀者大由緒記』 ほか
- 35種類 68点が展示されました。



忍者錦絵ミュージアム

(伊賀流忍者博物館)

錦絵は、浮世絵の代表的な技法である多色刷りの木版画で、江戸時代中期に確率しました。
このサイトでは、伊賀流忍者博物館が所蔵する、忍者を題材にした錦絵を紹介しています。

<p>数量限定販売</p> <p>仁木弾正直則</p> <p>歌川豊国</p>	<p>数量限定販売</p> <p>仁木弾正荒獅子男之助之図</p> <p>一陽斎豊国 (歌川国貞)</p>	<p>数量限定販売</p> <p>仁木弾正忍術図</p> <p>一勇斎国芳 (歌川国芳)</p>	<p>数量限定販売</p> <p>仁木弾正</p> <p>豊原国周</p>

<p>数量限定販売</p> <p>犬山道節与興遁火の術</p> <p>一魁斎芳年 (月岡芳年)</p>	<p>数量限定販売</p> <p>松ヶ枝関之助賊鼠退治図</p> <p>一魁斎芳年 (月岡芳年)</p>	<p>雲龍九郎虎王磨早風奇術競</p> <p>歌川豊国</p>	<p>先代萩仁木弁之助</p> <p>一勇斎国芳 (歌川国芳)</p>

紹介する錦絵は、ネズミを操る妖術使いが登場する「伽羅先代萩」に関連した歌川国貞作の「仁木弾正荒獅子男之助之図」など著名な絵師7人の作品で、大きさは縦33・8センチ、横22・8センチ。両手で印を結び、口に巻物をくわえた忍者が登場する作品背景や絵師の横顔など、来館者に興味を持ってもらえるよう解説文も付けた。

<https://www.iganinja.jp/nishikie/index.html>



忍術発祥の地「伊賀」プロデュース、 ホンモノの忍者を知る至極のおもてなし空間



伊賀流忍者博物館
学芸員・館長補佐 幸田知春(こうだ ちはる)

忍者は今や“Ninja”として世界中に知れ渡っていますが、想像上の忍者が先行し、実際に戦国時代から江戸時代に実在し活躍した忍者のことは、ほとんど知られていません。忍者に憧れ、来日される海外のお客様の大半は、テーマパークのショーの忍者を信じ、帰国される方がほとんどです。せっかく日本にお越しいただいたのに、ホンモノに触れずにお帰りいただくのは、本当に残念なこと。

私どもは忍術発祥の地「伊賀」の博物館として、“ホンモノ”の忍者・忍術を知っていただきたい思いで、「忍泊-NINPAK-」を始めました。「日本通のお客様の声にもっと応えたい!」、「忍者を呼び水にホテルを活気づけたい!」興味をもっていただくきっかけは、どのようなものでも構いません。忍者屋敷のからくり体験、歴史的に貴重な忍術書や文献にもとづいた忍者道具のレプリカ展示をホテルのお部屋にぜひ再現いただき、正しい忍者の知識を海外のお客様に学んでいただきたいと願っています。



伊賀流忍者博物館が厳選した資料を 独り占めできる、特別なコンセプトルーム

伊賀流忍者博物館
館長 川口正仁(かわぐち まさひと)

私ども、伊賀流忍者博物館の前身となる施設は伊賀流忍者屋敷です。もしかすると、こちらの「忍者屋敷」の方が、みなさまにはおなじみの名称かも知れません。上野市制施行 10 周年を記念した世界こども博覧会での「忍術不思議館」が人気を博したことが、伊賀の忍術観光の礎を築いていくこととなりました。そして各地で忍者展が開催され、昭和 39 年 4 月伊賀流忍者屋敷の開館に至ることになります。

伊賀から遠く離れた場所でも、真実の忍者についてお客様にお伝えできるよう、また伊賀へ訪れていただける機会になればという思いで、宿泊しながら伊賀流忍者博物館をまるごと体験できる“Reproduction Museum”を展開します。

各部屋に展示されている文献や忍者道具は、すべて当館資料を忠実に再現したもの。場所は違えど、ホンモノの伊賀流忍者の精神に触れていただける機会になることは間違いありません。お客様の心に残るおもてなしに、「忍泊」を加えていただけると幸いです。

お問合せ先

一般社団法人 伊賀上野観光協会

〒518 - 0873 三重県伊賀市上野丸之内1 2 2 - 4

●忍泊 Web サイト : <https://www.iganinja.jp/ninpak/>

●マーケティング担当者

企画課長 安田 聡志(やすだ さとし)

tel : 0595-26-7788 fax : 0595-26-7799

e メール : iga-ueno@ict.ne.jp

株式会社フジヤ

●第2 イベントコミュニケーション事業本部

奥村哲朗(おくむら てつろう)

tel : 075-211-4311

e メール : t-okumura@fujiya-net.co.jp